

Suminoe Report



第126期 報 告 書

2014年6月1日 ▶ 2015年5月31日

Contents

- 1 ごあいさつ
- 1~4 事業の概況
- 5~6 連結財務諸表
- 7~8 トピックス
- 9~10 納入実績
- 11~12 企業データ
- 12 株式関連情報
- 13 株主メモ
- 14 株式事務に関するご案内



ごあいさつ

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、このたび当社第126期（2014年6月1日から2015年5月31日まで）の決算を終えましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

2015年8月

取締役社長 吉川一三



事業の概況

業績のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策から企業業績と雇用の回復が見られたものの、消費税増税の影響が想定以上に長引き、個人消費は伸び悩みました。海外では、米国と欧州は緩やかながら景気回復が続きましたが、中国やASEAN諸国では成長が鈍化しました。

このようななか当社グループは、中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”的基本方針に基づき、

諸施策を推進した結果、最終年度となる当期の連結業績は、売上高912億4千4百万円（前期比3.4%増）、営業利益31億8千8百万円（同0.2%減）、経常利益38億1千6百万円（同0.7%増）、当期純利益19億2千万円（同13.6%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

事業セグメントの概況

インテリア事業

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件が増加し、水平循環型リサイクルカーペット「ECOS®（エコス）」も国内販売、海外輸出がともに堅調に推移し、売上は前期を上回りました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、消費税増税の反動や新設住宅着工戸数の減少等が影響し、売上は前期を下回りました。

カーテンは、医療・福祉・教育施設向けの「Face」が堅調に推移したものの、2014年7月に発売した「mode S®（モードエス）Vol.7」および「U Life®（ユーライフ）Vol.7」が個人消費の伸び悩みの影響を受けました。

壁紙では、量産タイプの「ルノン・マークII」がやや苦戦しましたが、「ルノンホーム」の売上が伸長したことにより、売上は前期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高351億4千3百万円（前期比1.6%減）、営業利益6億5千1百万円（同16.7%減）となりました。

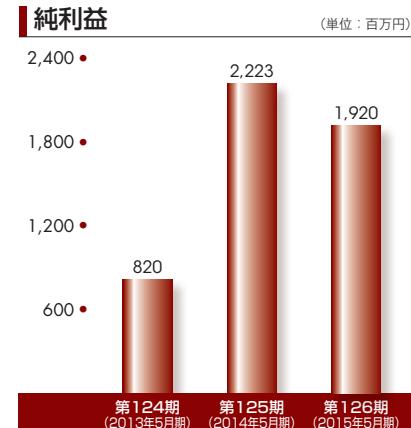
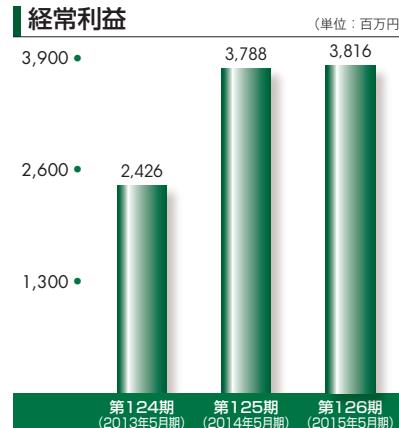
自動車・車両内装事業

自動車関連では、国内は依然として市場全体の回復が遅れ、低調に推移しましたが、海外の売上は大きく伸びました。これは、グローバルトータルサプライヤーとして、海外6カ国（米国、中国、タイ、インドネシア、インド、メキシコ）10拠点の事業展開により、商品領域の拡大を進めたことが奏功しました。特に北米市場の好調が大きく寄与し、自動車関連全体の売上は前期を上回りました。

下半期には、自動車市場の成長が顕著なメキシコ工場の拡充を実施し、さらには東南アジア地区の重要な拠点であるインドネシアの持分法適用会社を子会社化するなど、グローバル市場への対応力を強化してまいりました。

車両関連では、鉄道向けは、新車製造、リニューアル工事の内装受注が売上に寄与しましたが、各社が安全対策費を拡大したこと、シートの定期張替えが削減され、売上は伸び悩みました。バス向けは、円安による海外からの観光客増加を背景に、バスの新車発注が好調に推移し、また、オプション仕様による高付加価値商材の受注増加とあわせて売上は伸

業績の推移（連結）



長しました。車両関連全体では、売上、営業利益ともに前期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高504億8千2百万円（前期比5.8%増）、営業利益33億5千1百万円（同8.5%減）となりました。

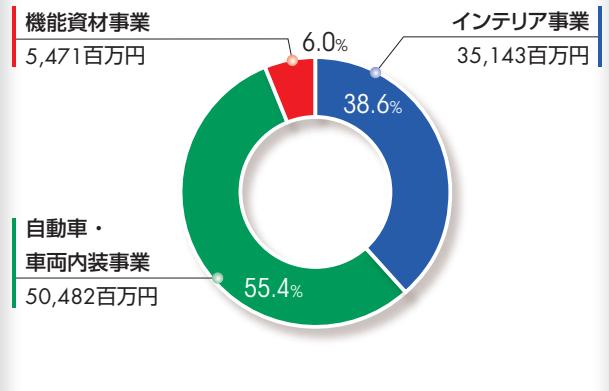
● 機能資材事業

ホットカーペットは、円安進行と消費税増税の影響を受け、メーカー各社の慎重な品揃えから減産となるものの、価格の適正化が図られたため増収増益となりました。

消臭・フィルター関連は海外向けフィルターが減産、国内向けが増産となり、減収増益となりました。また、浴室向け床材が新規採用となり、新たな機能性資材として生産・販売を開始しました。太陽光電池向け事業は、生産・販売ともに好調に推移しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高54億7千1百万円（前期比15.8%増）、営業利益2億9千8百万円（前期営業利益6百万円）となりました。

事業セグメント売上高



配当について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら適正な成果の配分を実施いたします。この基本方針のもと、1株当たりの期末配当は3円とし、中間配当（1株当たり3円）と合わせて、1株当たり6円の年間配当金とさせていただきました。

また、次期の配当金につきましては、中間、期末ともに1株当たり3円50銭、合わせて年間7円とさせていただく予定です。

2016年5月期見通しについて

国内経済は、個人消費が依然として力強さに欠けるものの、輸出企業を中心とした業績の改善と、良好な雇用環境から、緩やかに景気回復を続けております。海外では、米国と欧州が順調に回復しており、一方、中国や新興国は経済成長の鈍化から不透明感が増しております。

以上のような経済環境のもと、前中期3ヵ年経営計画に引き続き海外事業の強化とオンリーワン商品の積極展開を図り、新中期3ヵ年経営計画の初年度にあたる2016年5月期は、売上高980億円、営業利益38億円、経常利益42億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益25億9千万円を計画しております。

中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

● 新中期3ヵ年経営計画 “Advance Ahead 2018” スタート

2015年6月から新たに新中期3ヵ年経営計画 “Advance Ahead 2018” をスタートしました。前中期3ヵ年経営計画に引き続き、海外事業の更なる展開の強化とオンリーワン商品の積極展開を図り、市場シェアの拡大と利益率の向上を目指してまいります。海外事業の強化では、自動車内装事業を

中心に海外拠点を拡充するとともに、取り扱い商材の領域を拡大し、ビジネスの多角化を進めてまいります。オンライン商品の積極展開では、環境性能と付加価値の高い商品に注力し、競争力と収益力を強化してまいります。また、前中計期間では太陽光電池向け事業等を新規事業として開始しましたが、新中期3ヵ年経営計画においても、新たな事業分野の開拓に取り組んでまいります。

新中期3ヵ年経営計画 “Advance Ahead 2018” については、2015年7月10日にリリースさせていただいております。当社ホームページでは、IR情報の業績概要（下記URL）に掲載しておりますのでご参考ください。

<http://www.suminoe.jp/ir/outline/>

● 自動車内装事業を中心とした海外展開

自動車内装事業を中心とした海外展開では、米国をはじめ、中国、タイ、インドネシア、インド、メキシコで積極的に事業を進めております。2015年2月には、インドネシアで自動車内装事業を行っている合弁会社PT.Sinar Suminoe Indonesiaを子会社化、海外事業における機動力の更なる強化を図りました。3月には、メキシコ子会社の工場を従来の3倍強の広さとなる新工場へ移転し、新たにニードルパンチ

製造ラインを導入、現在のマット事業に加え、ニードルパンチカーペット事業も開始しました。今後も海外市場におけるシェアの拡大に向け取り組んでまいります。

● 水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」

2015年5月、100%リサイクルナイロン繊維を生産するイタリア最大のナイロンメーカーAquafil S.P.A.（以下 アクアフィル社）と業務提携契約を締結しました。当社とアクアフィル社はともに、同一製品間で再生する「水平循環型リサイクル」を行っており、リサイクルモデルのなかでもより環境に配慮した、効率的かつ高度な技術を有しております。今回の業務提携により、世界トップクラスの再生材料比率を達成している当社の「水平循環型リサイクルタイルカーペット ECOS®」と、アクアフィル社の「100%リサイクルナイロン ECONYL®」との相乗効果が一層拡大されることになります。当社は、今後も環境性能を高めた世界最高水準のナイロンタイルカーペットの開発を進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

（単位：百万円）

	2015年5月期	中期3ヵ年経営計画 “Advance Ahead 2018”		
		2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期
売上高	91,244	98,000	102,000	107,000
前期比	103.4%	107.4%	104.1%	104.9%
営業利益	3,188	3,800	4,400	5,000
営業利益率	3.5%	3.9%	4.3%	4.7%
経常利益	3,816	4,280	5,120	5,720
当期純利益	1,920	2,590	2,750	3,330
ROE	5.7%	7.2%	7.5%	8.4%

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2015年5月31日現在)	前 期 (2014年5月31日現在)	科 目	当 期 (2015年5月31日現在)	前 期 (2014年5月31日現在)			
【資産の部】								
流動資産	52,095	49,722	【負債の部】	36,783	35,824			
現金及び預金	9,663	9,684	支払手形及び買掛金	19,704	19,649			
受取手形及び売掛金	23,858	22,098	短期借入金	11,456	11,064			
有価証券	275	275	その他	5,622	5,110			
たな卸資産	14,830	14,454	固定負債	14,130	15,253			
その他	3,485	3,230	長期借入金	3,678	4,437			
貸倒引当金	△17	△20	再評価に係る繰延税金負債	3,970	4,375			
			退職給付に係る負債	3,856	4,030			
			その他	2,626	2,410			
			負 債 合 計	50,914	51,078			
固定資産	38,833	36,438	【純資産の部】					
有形固定資産	27,189	26,787	株主資本	23,397	21,984			
建物及び構築物	3,455	3,733	資本金	9,554	9,554			
機械装置及び運搬具	3,821	3,948	資本剰余金	2,652	2,652			
土地	17,254	17,263	利益剰余金	11,550	10,135			
その他	2,658	1,840	自己株式	△359	△357			
無形固定資産	495	476	その他の包括利益累計額	12,475	9,447			
投資その他の資産	11,147	9,175	その他有価証券評価差額金	3,771	2,177			
投資有価証券	9,617	7,396	繰延ヘッジ損益	△2	△14			
その他	1,677	1,929	土地再評価差額金	7,588	7,167			
貸倒引当金	△147	△150	為替換算調整勘定	1,324	363			
			退職給付に係る調整累計額	△205	△248			
資 産 合 計	90,929	86,161	少數株主持分	4,142	3,651			
			純 資 産 合 計	40,015	35,082			
			負債・純資産合計	90,929	86,161			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 資産の部

資産の部につきましては、前期末に比べ47億6千8百万円増加し、909億2千9百万円となりました。

流動資産は主に受取手形及び売掛金が増加したことにより同23億7千3百万円の増加となりました。

固定資産は主に投資有価証券が時価評価によって増加したことにより同23億9千4百万円の増加となりました。

■ 負債の部・純資産の部

負債の部につきましては、主に長期借入金が減少したことにより前期末に比べ1億6千4百万円減少し、509億1千4百万円となりました。

純資産の部につきましては、前期末に比べ49億3千3百万円増加し、400億1千5百万円となりました。当期純利益による利益剰余金が増加したことが主な要因です。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2014年 6月 1日から 2015年 5月31日まで)	前 期 (2013年 6月 1日から 2014年 5月31日まで)
売上高	91,244	88,266
売上原価	72,457	69,440
売上総利益	18,787	18,826
販売費及び一般管理費	15,599	15,631
営業利益	3,188	3,195
営業外収益	1,021	1,081
受取利息及び配当金	163	140
持分法による投資利益	216	310
不動産賃貸料	234	240
その他	406	390
営業外費用	392	488
支払利息	229	241
不動産賃貸費用	39	43
その他	123	202
経常利益	3,816	3,788
特別利益	31	5
特別損失	155	97
税金等調整前当期純利益	3,692	3,695
法人税、住民税及び事業税	1,092	912
法人税等調整額	278	163
少数株主損益調整前当期純利益	2,321	2,618
少数株主利益	400	395
当期純利益	1,920	2,223

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2014年 6月 1日から 2015年 5月31日まで)	前 期 (2013年 6月 1日から 2014年 5月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,701	4,479
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,231	△1,221
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,756	△895
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	193	19
V. 現金及び現金同等物の増減額	△92	2,380
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	9,564	7,183
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	71	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	9,543	9,564

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益36億9千2百万円、減価償却費18億6千2百万円等に対し、売上債権の増加額8億4千9百万円、法人税等の支払額10億9千6百万円等により、37億1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出14億2千2百万円等により12億3千1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額10億4千6百万円、配当金の支払額4億9千1百万円、リース債務の返済による支出8億8千5百万円等により27億5千6百万円の支出となりました。

COMMENTS

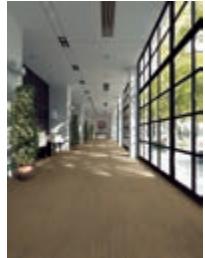
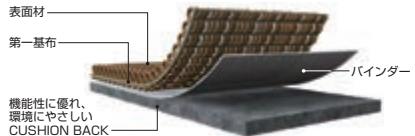
連結損益計算書

売上高につきましては、インテリア事業において減収となったものの、自動車・車両内装事業および機能資材事業において増収となり、前期比29億7千8百万円増加の912億4千4百万円となりました。

営業利益は同7百万円減少し31億8千8百万円、経常利益は同2千8百万円増加し38億1千6百万円、当期純利益につきましては同3億2百万円減少し19億2千万円となりました。

【新しいタイルカーペット「CUSHION BACK SERIES」を発売

新しいタイルカーペット裏材「CUSHION BACK」は使用済みペットボトル由来の再生繊維を80%使用し、環境に配慮した設計です。また、従来のタイルカーペット裏材であるPVCと比較して、快適な歩行性、耐久性、防音性、保温・断熱性などの機能に優れています。4柄24アイテムのラインナップで展開しています。



【カーテンの新ブランド「cölne (コルネ)」を発売



コットンや天然素材混の糸、スパン糸を用いたナチュラルな風合いと、シンプルなデザインが心地よいファブリックコレクションです。コットンなど縮みやすい素材を用いながらも、全品ウォッシャブル対応規格です。17柄36アイテムで展開しています。

【トヨタ「アルファード」と「ヴェルファイア」に当社内装材が採用

当社の繊維製品が、トヨタの最上級ミニバン「アルファード」と「ヴェルファイア」のフロアカーペット、シートファブリック、天井材に採用されました。フロアカーペットは、遮音性能を備えたニードルパンチカーペットが使われています。シートメイン材は、クッション材付きのエンボス品が採用されており、最上級ミニバンに相応しい車内空間を演出しています。



■ 産学連携による光発電ファイバー/光発電布の研究開発

NEDO事業「グリーンセンサ・ネットワークシステム技術開発プロジェクト」2011～2014年度（4年間）

このプロジェクトの目的は無線通信機能、自立電源機能及び超低消費電力機能の革新的センサの開発による省エネの実現です。当社は東京工業大学、信州大学と共同で光発電ファイバーを用いた自立電源の開発に取り組み、目標である $150\mu\text{W}/2\times5\text{cm}$ の出力を達成しました。開発した発電布は布帛特有のフレキシブル性を有しています。



■ 「TOTOシステムバス」に当社床表皮材が採用



TOTOのシステムバスは、節水機能と新しい浴び心地の「エアインシャワー」、保温性の高い「魔法びん浴槽」、そしてこれまでの浴室床に比べ、柔軟性があり、畳のような感触、翌朝には乾いているカラリ性をもつ床「ほっカラリ床」という3つの機能を持ち、市場で好評価を得ている商品です。

その特長の一つである「ほっカラリ床」の表皮材に当社製造のオレフィンシートが採用されました。

当社が培ってきたオレフィン素材をシート状に成形する技術を活かし、適度な柔軟性や親水性など、浴室に求められる数々の機能を満たした床材が出来上りました。

■ JR東日本 EV-E301系「ACCUM（アキュム）」に当社内装材が採用

全国で初めて、車両の走行に必要な大容量の蓄電池を搭載した蓄電池駆動電車「ACCUM（アキュム）」に、鳥山市伝統の山あげ祭りをイメージしたデザインのシート地（インクジェットプリントモケット+ファスナーの二層ラミネート品）とスミキューブを納入しました。

「ACCUM」は、従来の気動車に比べ、エンジンからの排気ガスの解消や二酸化炭素・騒音の低減を実現した、新しい動力方式の車両です。



納入実績

マツダ CX-3
内装材・外装材（繊維製品）



阪神電気鉄道 5700系通勤車
(シート地・スミキューブ)



ウエスタ川越 大ホール
綴織緞帳



ホンダ グレイス
内装材・外装材（繊維製品）



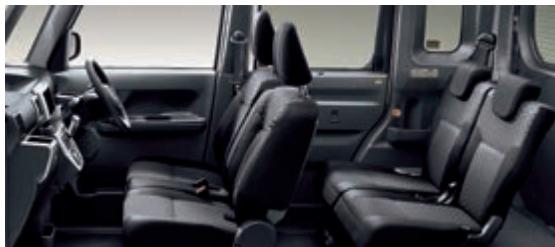
早稲田大学新3号館
タイルカーペット



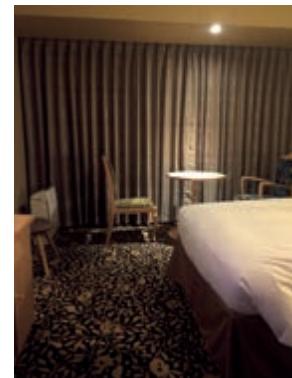
JR東日本 E235系『山手線』
量産先行車 (シート地・スミキューブ)



ダイハツ ウェイク
内装材 (繊維製品)



JR九州ホテル・ブラッサム大分
別注タフテッドカーペット・カーテン



企業データ

■会社の概要 (2015年5月31日現在)

本 社

大阪市中央区南船場3-11-20

大阪支店

大阪市中央区南船場3-11-20

東京支店

東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル

奈良事業所

奈良県生駒郡安堵町大字窪田634-1

大阪事業所

大阪府松原市大堀1-5-8

滋賀事業所

滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5

京都美術工芸所

京都市上京区新町通今出川上る元新在家町167-2

合資会社創立 1913年12月25日

株式会社設立 1930年12月26日

資 本 金 9,554,173,950円

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

従 業 員 数 247名 (連結 2,604名)

■主要なグループ企業 (2015年5月31日現在)

○国 内

株式会社スミノエ

インテリア製品の企画・販売

ルノン株式会社

壁紙を中心としたインテリア製品の企画・販売

住江物流株式会社

インテリア製品の保管・加工

スミノエ テイジン テクノ
株式会社

自動車用内装材の製造・販売

住江テクノ株式会社

カーペットの製造・加工
スミトロン糸の製造、不織布の加工

○海 外

Suminoe Textile of
America Corporation

米国
自動車用内装材の製造・販売

Suminoe Textile de Mexico,
S.A. de C.V.

メキシコ
自動車用内装用品の製造・販売

住江互太（広州）汽車
織維製品有限公司

中国
自動車用内装材の製造・販売

蘇州住江小出汽車用品
有限公司

中国
自動車用内装用品の開発・製造

住江織物商貿（上海）
有限公司

中国
自動車・車両用内装材および部品の企
画開発・製造管理・卸売業・輸出業務

蘇州住江織物有限公司

中国
ホットカーペットの製造

T.C.H.Suminoe Co., Ltd.

タイ
自動車用内装材の製造・販売

PT.Suminoe Surya
Techno

インドネシア
自動車用内装用品の製造・販売

PT.Sinar Suminoe
Indonesia

インドネシア
自動車用内装材の開発・販売

Suminoe Teijin Techno
Krishna India Private Limited

インド
自動車用内装材の製造・販売

■主要な事業内容

＜インテリア事業＞…カーペット、カーテン、壁紙、

各種床材 等

＜自動車・車両内装事業＞…自動車・バス・鉄道車両・航空機等の
内装材

＜機能資材事業＞…ホットカーペット、消臭関連商材、
太陽電池向けシリコンウエハ 等

株式関連情報

■ 役員 (2015年8月28日現在)

取締役および監査役

[代表取締役] 社長
[代表取締役] ○専務取締役
[代表取締役] ○専務取締役
○常務取締役
○取締役
○取締役
社外取締役

常勤監査役
社外監査役
社外監査役

執 行 役 員

上席執行役員
上席執行役員
上席執行役員
上席執行役員
執 執 執 執 執 執 執 執 執 執 執 執 執

三三明均英彦裕
一省義善邦

誠直史
秀恭
一下
異世山

○の取締役は上席執行役員を兼務いたします。

■ 株式の状況 (2015年5月31日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	76,821,626株
株主数	5,179名

□大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	9,249	12.26
日本生命保険相互会社	5,018	6.65
丸紅株式会社	3,665	4.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,954	3.92
株式会社みずほ銀行	2,345	3.11
トヨタ自動車株式会社	2,240	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,128	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託ユニチカ口)	1,788	2.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742	2.31
住江織物共栄会	1,656	2.20

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2.持株比率は自己株式（1,374,982株）を控除して計算しております。

▽本報告書、株式に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 本社総務部

TEL:06-6251-6801 FAX:06-6251-0862

株主メモ

事 業 年 度 每年6月1日から翌年5月31日まで

定 時 株 主 総 会 每年8月

基 準 日

定 時 株 主 総 会 每年5月31日

期 末 配 当 金 每年5月31日

中 間 配 当 金 每年11月30日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵 便 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電 話 お 問 い 合 わせ 先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お 取 扱 店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) ※カスタマーブラザではお取り扱いできません。
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店 をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある 場合は至急ご連絡ください。

公 告 方 法 電子公告

(当社ホームページ <http://suminoe.jp/ir/>に掲載)

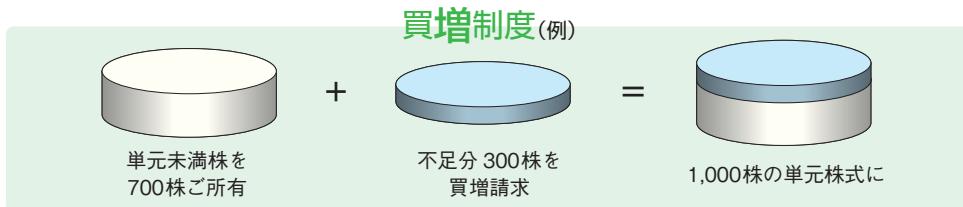
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に
掲載する。

単 元 株 式 数 1,000株

株式事務に関するご案内

1. 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社では、単元株式（1,000株）に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」のほか、単元株式（1,000株）に不足する株式を買い増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。お手続きにつきましては、左記のお問い合わせ先フリーダイヤルにお申し出ください。



2. 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。

証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。



※このレポートには、再生紙を使用しています。
インキは環境負荷の小さな植物油インキを使用しています。